

燈々会だより



瀬波の夕日

No. 42

令和7年3月発行

発行人 青木 智子
編集発行 新潟県在宅保健師の会「燈々会」
新潟市南区和泉361-2 ☎(025) 373-3967



令和8年は「燈々会」発足50周年の年

会長 青木 智子

私たちの「燈々会」は昭和51年6月の結成から48年を迎えました。
在宅保健師の会として全国で一番初めに産声を上げました。

住民の幸せを追求したかつての先輩や仲間たちが、その後もそれぞれの地域で過去の経験をもとに、地域での仲間づくりや、また趣味を生かして第二の人生を楽しんでおられるであろうが、せめて1年に1度や2度は旧交を温めるために一堂に会し、現在をそして将来を語り、豊かな人生経験を何かに役立てるような会が出来たらと、そうした声があちこちで聞こえ、発起人の方々のお骨折りが実り多数の賛同を頂いて発足した会です。この会も令和8年には記念すべき50周年を迎えます。今、多くの方が参加し楽しんでいただける記念行事や翌年度の記念誌発行を目指し「50周年記念事業実行委員会」を組織して準備に頑張っています。

これからも私たちができるその時々求められる地域の健康づくりを模索して、幸せの実現に向かっていきたいものです。そして大先輩の皆様が作り育ててきたこの会を、私達も会員一丸となって伝統を守っていききたいと強く思います。



令和6年度 新潟県在宅保健師の会「燈々会」総会

令和6年4月24日 於：新潟県自治会館別館

会員数 104名
(令和6年12月末現在)

contents

会長あいさつ……………1頁
令和6年度総会報告等……………2頁
在宅保健師等研修会報告等……………3頁

各支部の研修内容等……………4～7頁
研修旅行……………8頁
お知らせ(設立50周年に向けて)
……………9頁

入会しましたようしくお願いします、
会員のひろば……………10～11頁
庶務報告等……………12頁

令和6年度 総会 報告

副会長 若 井 和 美

4月24日、自治会館別館で24名の出席と委任状62名で総会が開催されました。物故会員へ黙祷を捧げたのち、来賓の県国民健康保険団体連合会保健事業課長戸枝芳朗様、県看護協会々長斉藤有子様、県看護連盟会長佐藤和泉様より温かい祝辞をいただきました。議長選出後、令和5年度事業報告、委員会（推薦、編集）報告、決算と監査報告がありました。決算案について、地域のお茶の間事業の支出細則や友愛訪問の支出基準の質疑応答を経て承認されました。令和6年事業計画、予算、内規改正（災害時の加筆）の各案も承認されました。

議事終了後の役員選挙は該当なく省略、協議事項として今年度研修旅行担当の新発田・村上支部より「地域住民団体活動による地域力の底上げをめざす取組紹介」をテーマに、9月に計画している村上散策と瀬波温泉の旅について具体的な案内がありました。

閉会後は恒例の集合写真を撮って、和やかに終わりました。

令和6年度 挨拶

新潟県国民健康保険団体連合会
保健事業課 課長 戸 枝 芳 朗 氏



日頃より、在宅保健師の会「燈々会」の皆様におかれましては、地域住民の健康の保持・増進に貢献されていることに深く敬意を表します。また、本会の保健事業運営につきましてご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、政府は昨年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針2024）」では、医療・介護サービスの提供体制の構築、予防・重症化予防・健康づくりの推進などが示されております。

医療・介護サービスの提供体制では、2040年頃を見据え、85歳以上人口の増大や現役世代の減少等に対応できるよう、地域医療構想の対象範囲について、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制全体に拡大する検討を行うとしています。

予防・重症化予防・健康づくりの推進では、健康寿命を延伸し、生涯活躍社会を実現するため、第3期データヘルス計画に基づき保険者と事業主の連携の深化を図っていくとともに、総合事業の充実により、地域の多様な主体による柔軟なサービス提供を通じた効果的な介護予防に向けた取り組みを推進することとしています。

こうした状況のなか、日頃から地域住民の健康維持や福祉の向上に重要な役割を果たしております在宅保健師の役割は、より一層重要になってくることと思います。

「燈々会」会員の皆様におかれましては、これまで培ってこられた知識や経験を活かし、地域の保健活動に積極的に参画していただくようお願いいたします。

本会といたしましても、運営の一助となる支援に努めてまいりますとともに引き続き、関係団体と連携・協力し、地域全体で予防・健康づくりを進め健康寿命の延伸や医療費の適正化につながる保険者支援を行ってまいります。

最後に、新潟県在宅保健師の会「燈々会」の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



令和6年度在宅保健師等研修会報告

国保連合会
保健事業課 保健係

日時：令和6年4月24日13:00～15:00 **会場**：新潟県自治会館別館 902 会議室

目的：災害への備えや避難所の支援活動について学び意見交換をすることで、地域に暮らす専門職としての役割を考え実践することで市町村の地域保健活動に寄与する。

参加者：燈々会22名 市町村他12名

【講演】「地域づくりとしての災害への備え」

講師：チーム中越代表 防災士・子育て防災支援士 佐竹直子 氏

講師の支援活動を中心に、その地域の文化や風習を考慮した支援の必要性や継続ケアの重要性について講演をいただきました。講演時も能登への支援を継続されていた講師の広域的かつ精力的な活動に感銘を受け、参加者全員が熱心に受講していました。また、支援現場の声を聴くことができ「正しい情報を必要としている人に届ける」「どのような支援が出来るかを予習しておく」「多職種によるネットワーク作りの構築や予防支援などを考えていきたい」など、必要な支援や日頃の活動について具体的にイメージできたというコメントが多く寄せられました。



【情報交換】「地域保健活動の中でできる災害への備え」

市町村職員にも参加いただき、その地域での実情も交えながらの活発な意見交換となりました。「支援者へのサポートについても事前に調べておく」「日頃から近隣との信頼関係がもてるようにする」など、それぞれの立場で日々の活動の中で意識していくことを考えることができました。また、市町村職員からは「在宅保健師との連携で今後一緒に取り組めることがあるとよいと思った」「力強い先輩がいてよかった。今後、つながっていければ良い」などの意見が聞かれました。最後には講評として、講師から在宅保健師への激励と期待のお言葉もいただきました。専門職として地域で暮らしていくことや自身ができる活動を考えるきっかけとなり、実践につながる有意義な研修会となりました。

令和6年度東北地方在宅保健師等会連絡会議

会 計
井 倉 久美子

令和6年12月5～6日ホテルメトロポリタン山形で開催され、当県から副会長若井、常任幹事石田、会計井倉、国保連合会保健事業課久保保健師(全参加者54名)が参加しました。講演は①「健幸に過ごす為に～生活習慣を見直そう～」山形大学公衆衛生学教授 今田恒夫氏 ②「ロコモを防いで延ばそう健康寿命」公立置賜総合病院リハビリ部 井上健氏 ①②とも健康寿命の延伸には“笑う頻度”と“体幹筋肉”が重要と学びました。情報交換では多様な活動紹介の一方、会員増に向けては共通課題でした。全国では閉会した熊本県、再設置した愛媛県の動きを知り、会の存在意義が再確認でき元気を頂きました。

国保連合会 保健事業課 保健師の紹介

私たち保健事業課の保健師は、燈々会の皆様が市町村の地域保健活動を支えることができるようお手伝いをしています。「燈々会だより」作成や保健活動意見交換会開催の支援のほかにも、知識・技術習得のための研修会を開催しています。各種研修会については支部幹事を通じてご案内していますので、ぜひご参加いただき、日頃の活動や新たな知識の習得にお役立てください。



お気軽に話しかけてください。
山城(左)・久保(中)・齋藤(右)

◇研修内容◇

各 支 部 の

上越支部

今年度当支部では、10月24日に研修会を実施しました。内容は保護司をしている支部会員を通じて、保護観察官から講話を頂くことになり「更生保護の実態を知り在宅保健師として地域の中で出来ることを考える」を目標としました。講師との事前打ち合わせで共に人と地域を繋ぐ活動を大事にしている職種である事が確認でき、そこに焦点を当てた講話となりました。保護観察は、医療・福祉・行政等関係機関との連携や地域援助を重視して実施する事を大切にしており、刑務所に入っている人の20%が知的障害者であり、保護観察者の8割が発達障害者であるなど保健師活動との共通項や連携について考える機会となりました。



長岡・柏崎 魚沼支部

10月18日「普通救命講習」を、長岡消防署の救急救命士から受けました。私たちの支部は年間約20回救護の依頼を受けます。いざという時に少しでも自信を持って任務にあたるよう繰り返し講習を受けたいとの会員の声もあり実施しました。DVDを見たり、人体モデルを使って心肺蘇生法やAEDの使い方を体験しながら会員から沢山の質問がでて、講師はユーモアを交えながらどんな質問にも的確に答えてくださいました。何度も笑いが起こり和気藹々として、とても楽しい研修会となりました。講習後はコロナ禍以降久しぶりのランチ懇親会を設け、ヨガの先生監修の心のこもった「菜食ごはん弁当」を食べながら親睦を深めることが出来ました。



新潟第一 支部

7月10日、高齢福祉課の保健師2名を講師に迎え、研修会を実施しました。認知症基本法や「認知症とともに生きる希望宣言」、五泉市の事業である「チームオレンジ」「認知症カフェ」「地域あんしん見守り訓練」などや認知症施策を学び、「認知症とともに生きる」「認知症の人と共生する」ことの理解を深めました。会員の中には、地域でお茶の間などを展開している人もあり、若い世代や男性を動かして活動をしていく必要性を再認識し、また、「自分たちの地域で出来ることをしていこう」「認知症の人の声をもっと聞いていこう」「認知症の人を今度誘って参加してもらおう」など前向きな声が聞かれ、充実した研修会でした。



上越支部では今年度大先輩の会員4名が会を辞められましたが、1名の新規入会者があり17名の会員となりました。6月18日の支部総会では、懇談会やランチ会を行い会員の近況報告や今後の研修会の希望など時間が足りないほど和気あいあいとした会となりました。活動報告では各会員の様々な活動が話され、その中の保護司の活動について監察官から話を聞きたいと希望があり、今年度の研修会のテーマとしました。上越支部では、会員それぞれ保健師を基盤に様々な活動を行い在宅保健師として活躍しています。（記 五十嵐直子）



今年は5名の新会員を迎え、25名でのスタートとなりました。活動のメインはブロック研修と、3月実施予定の健康劇です。これからシナリオ作りと練習を行い当日に臨みます。

幹事の役割として、各種団体からの救護依頼の調整があります。最近困ったのは、猛暑の日中の救護依頼。高齢化が進む会員では、自分たちも熱中症になったり、広い会場の中を要援護者のもとに駆けつけなければならず、逆に救護される側にもなりかねません。要望には極力応えたいとは思いますが、会員自身の安全を守り無理のない範囲で取り組みたいです。（記 神保由実子）



今年は、うれしいことに声かけにより新しく会員が加入されました。健康福祉課の地区担当保健師から健康劇を依頼され、4月に「フレイル予防」と「認知症予防」を実施しました。「認知症予防」では、地区担当・高齢福祉課・地域包括支援センターで事業を展開している一場面に健康劇が導入され、多くの職員と連携しながら実施できました。「こんなふうに対応するといいんだね」「認知症の家族がいるので相談したい」など参加者の声もあり、また、「フレイル予防」では多くの男性の参加があり、地域全体で考える機会に繋がりました。（記 目黒 節子）



◇研修内容◇

各 支 部 の

新潟第二・ 三条支部

新潟第二・三条支部のブロック研修は、10月12日、作業療法士の宮路聡子氏を講師に招き、講演と実技を行いました。自分の身体も年々硬くなってきていることを痛感しており、お茶の間等を支援している会員もあり参考になればと、計画しました。テーマは「じっくりと体しゃっきり体操」で、介護予防に入る前位から活用できるとの事でした。体操のポイントの説明を受けたあと実技を行いました。回数よりも、じっくりとしゃっきり取り組む効果を学び、気持ち良さを実感できました。研修旅行参加者から、研修の報告もあり、来年は大勢で参加しようと声をかけあいました。



新発田・ 村上支部

今年度は燈々会の研修旅行の担当支部として9月12日に実施した「むらかみ地域医療サポートセンターはぐ」の活動を知ることを支部研修の一つとして実施させて頂きました。

「はぐ」の成り立ちや活動を紹介してもらう中で、地域のつながりを深めていくことや自分らしく生きられる地域の存在が医療や介護の充実につながる事を再確認できた研修でした。参加者みんなで体験した「もしバナゲーム」は余命6ヶ月になった自分と向き合いながらどんな生活や希望をもって暮らしたいかを考えるゲームでした。「自分の大切にしたいことが何かに気づけた」「自分と違う価値観や意見が聞けて良かった」などの感想が聞かれました。



佐渡支部

農繁期が一段落した11月23日(土)佐渡支部ブロック研修会【自宅で簡単 ほぐしヨガ】+【R6燈々会研修旅行in村上報告会】をテーマに行い、8名の会員が参加しました。ヨガ教室では「正しい呼吸と姿勢で体の中からリラックスし、心も身体も整える」という基本から始め、肩こりや腰痛の改善につながり自宅でも空いた時間でできる簡単な動きを学びました。参加した会員からは「今度、自分が参加しているお茶の間でやってみようかしら」との声も出て有意義な時間となりました。研修旅行参加者からの報告も「もしバナゲーム」を中心に興味深い内容で、これからの生き方や佐渡市の医療に考えをさせ、活発な意見交換ができました。



支部総会は、5月25日16名の参加でした。役員が交代となった為、ブロック研修は無理せず、1回の実施を予定しました。総会終了後、DVDでハンセン病療養所「風の舞」を視聴しました。募金をしていてもハンセン病について詳しく学んでこなかった事に気づかされました。何気ない日常の暮らしが幸福であり、遺骨が古里に帰れない現実を知りました。助成金



を受けてのお茶の間の開催は1ヶ所で継続中です。10月12日のブロック研修では年々硬くなってくる身体をほぐすべく、講師を招いて体操に取り組み、研修旅行参加者の報告を交えながら、交流しました。

(記 長沼 典子)

支部総会を3月15日に7名の会員が出席し、栗島浦村の特定健診への協力や6年度の活動計画(支部が担当する研修旅行等)について話し合い、「今年は忙しい一年になりそうですね。力を合わせて乗り切りましょう」とみんなで確認し合い、今年度がスタートしました。

その後8月に幹事会報告を受け会員獲得についてどのように取り組んで行くか検討した結果、60代の若い会員が支部活動への興味や関心を失わないよう情報提供し、今以上につながりを深めていくことを目標に取り組んでいるところです。

(記 安達 ミチ)



「ほっとハウス青木～島の保健室」のこの1年間の利用者数は延べ949名(うち支部メンバースタッフは延べ140名)と昨年に比べ約100名増加しました。「コロナが落ちついたら子供たちと一緒に料理を作って、楽しく会食するような催しもしたいね」と話し合っていたことが、12月1日【コロケパーティー】という形で実現しました。管理栄養士の資格を持つ常連さんがレシピを作り、子連れのお母さん、孫連れの支部会員、高齢のご近所さんも一緒に企画。手芸が得意な常連さんは仲間を誘って玄関ホールでミニマルシェも行いました。地域の皆さん自らがやりたいことを発信してくるようになってきていると感じています。

(記 土屋 貴子)



9月11日13時半から村上駅で参加者をお迎えし、観光バスで出発です。車内でさっそく安達幹事が歓迎の挨拶。2班に分かれて酒蔵と町屋巡りをしました。観光ガイドさんの案内で村上の風情・歴史を感じ、三々五々おしゃべりしながら散策しました。地酒を味わってぽかぽかしたり、お抹茶を飲んだり至福の時間でした。17時には瀬波ビューホテルに到着し、支部ごとに部屋でくつろぎました。18時から夕食・懇親会です。くじ引きで席に就き、青木会長の開会の挨拶で始まり、恒例の出し物。寸劇あり、俳句あり、即興あり、踊りあり芸達者な皆様で、感嘆したり笑いこけたり楽しい時間でした。

12日は、広間で3～4人に分かれ、「むらかみ地域医療サポートセンターはぐ」メンバーのリードで、「余命半年と宣告された時どうしたい？」について発表し合い、自分は何を大切にしたいか気がありました。その後、ブドウ園と物産館をご案内し、村上駅で「岩ノりおにぎり」を渡してお別れしました。何人もの方と言葉を交わすことができ、保健師の生きざまを感じ、村上の地元の方々の地域愛を



大洋酒造「和水蔵」の前で



村上町屋めぐり



黒堀の通り

お伝えできた旅行でした。

研修旅行に参加して

長岡・柏崎・魚沼支部 清水 一美

「地域の文化に触れながらこれからの時代を見据えた地域住民の活動を知る」満喫しました。村上地元ガイドさんの案内で歴史ある町並みを散策。瀬波ビューホテルでの夕焼け、露天風呂の気持ちよさ。親睦宴会での様々な語らい。医療従事者だけでなくハグの会の活動に感動。自分の人生の終盤をどう選択していくか、価値観の再確認が出来ました。部屋から見えたイルカ達に癒されました。



天井から吊るされた大量の鮭！

新潟第二・三条支部 長沼 典子

燈々会研修旅行は何年ぶりだろうか。やはり参加してよかったなと、しみじみ思っています。「新しい出会いがあるよ」の先輩のお誘いと、「むらかみ地域医療サポートセンターはぐ」の活動に関心がありました。余命半年と宣告された時どうしたい？の「もしバナゲーム」で残したカードは写し、家族に見せました。町屋歩きも楽しく、担当の新発田・村上支部の皆様ありがとうございました。



「もしバナゲーム」体験



宴会で役者が揃っています♡

お知らせ（設立50周年に向けて）

燈々会設立から令和8年で50周年を迎えます。これまで会の運営と活動を支えてくださった方々に感謝の意を表し、会員の親睦と会への思いを深めるため下記の事業について準備を始めています。

○記念行事 令和8年度総会に併せて開催予定

○記念誌発行 令和9年発行予定

燈々会の成り立ちについて

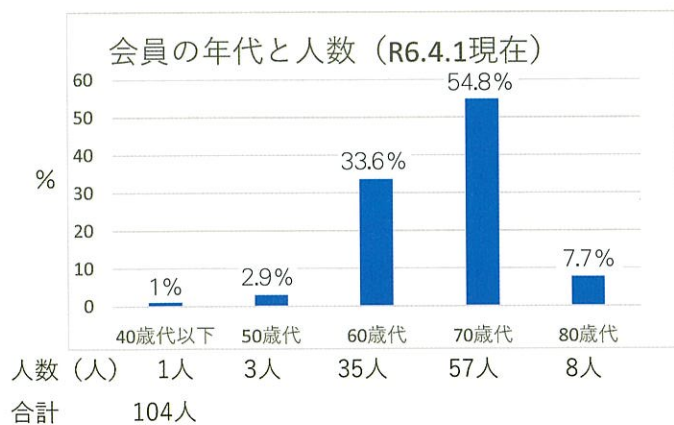
【設立はいつ】昭和51年6月。5人の仲間が発起人となり「新潟県退職保健婦の会」を設立、翌年「新潟県燈々会」と命名されました。

【設立のきっかけ】昭和30年代から住民の健康問題は感染症から個人の生活等に起因する生活習慣病へと変わり、保健師は国が定めた保健事業の担い手として位置づけられ、個人や家族への保健指導などを実施するようになり業務が増えていきました。その一方で昭和40年代後半から保健師の定年退職者が増加し、退職後も保健師同士の交流を深めていきたいという思いと自分が培ってきた保健師の経験を活かし、住民の健康を守るために貢献したいという熱意と使命感があつて、会を設立しました。

参考：会員の現在の状況



会員の人数は、退職延長制度や再任用制度の影響もあり減少傾向にあります。年齢は60歳代が少なく、平均年齢が高くなっています。若い会員の入会が求められています。



支部別平均年齢（R6.4.1現在）

上越支部	長岡・柏崎・魚沼支部	新潟第1支部	新潟第2・三条支部	新発田・村上支部	佐渡支部	全体
72.6歳	69.4歳	73.3歳	71.9歳	75.5歳	64.5歳	71.1歳



燈々会を退会して



元上越支部
桑島弘子

私が「燈々会」を知るようになったのは、平成3年に母の介護のため早期退職していた時でした。先輩から燈々会の総会に出席してほしいと言われ、その5年後に入会することになりました。

入会していた25年間は、私の人生に大きな影響がありました。研修を受けるたび知識や技量のなさを感じましたが、ふれあい事業などで高齢者の方々と共に喜び、楽しむことができました。県内は広く知らない所へブロックの方々から案内していただく研修旅行は、懐かしい出会いもあり、夜の歌、踊り、劇ありで楽しかったです。現会員の方々は、事業の継続も大事ですが、今後は子育て中の若い人々に経験を伝えるのもいいと思います。3月に退会しましたが入会して本当によかったと思っています。

入会しました よろしくお願ひします



上越支部 金子 弘子

今は軽運動と習い事に通いながら、実家の両親の世話や県外の娘家族のヘルプなど、自分と家族を優先した生活を送っています。

今回の入会で、懐かしきもお元気な先輩方とお会いでき、私もアクティブシニアを目指したいと思いました。よろしくお願い致します。



長岡・柏崎・魚沼支部 稲川 明美

地元に戻り、38年間勤務した職場を、今年3月に退職しました。

働き詰めの半世紀だったので、新しい自分探しをしている時に、入会のお誘いを受けました。家庭菜園をしながら、新しいお仲間との活動・交流を楽しみにしています。よろしくお願い致します。



長岡・柏崎・魚沼支部 佐藤 茂子

定年退職後、再任用に産休代替と続き、4月から在宅保健師として相談会や介護予防のお仕事を自分なりのペースでやっています。

現役当時お世話になった方から声を掛けて頂き入会しました。どうぞよろしくお願い致します。



長岡・柏崎・魚沼支部 林 孝子

長年勤務した職場を退職する時に、先輩からお声がけ頂き入会させていただきました。懐かしい方々と再会できてとても嬉しいです。

今は地域包括支援センターで仕事をしていますが、少しずつ会の活動に参加させていただきたいと思っています。よろしくお願い致します。



長岡・柏崎・魚沼支部 星野美佐子

定年退職し、ようやく書道や花いじり、老犬の世話を楽しめる生活になりました。時々市の保健指導等にも協力しています。

入会を迷っていましたが、そこでご一緒する先輩方はどなたもいきいき・はつらつされていたので、入会することにしました。よろしくお願い致します。



長岡・柏崎・魚沼支部 渡辺 隆子

定年退職して6年目、今も市の子育て部門で仕事をしています。そろそろ自分の時間を楽しみつつ、この先も地域のために保健師として、役に立ちたいと思い入会しました。

先輩の皆様との交流も、楽しみにしています。よろしくお願い致します。



新潟第一支部 佐藤ゆう子

8年前に市役所を退職し、医療・介護連携の仕事に5年携わり、母を看取り、やっと自分の時間ができました。旅行・趣味・体力維持とボランティアなど様々楽しく忙しくしています。」

保健師としてこれからできる範囲で感動したいのでよろしくお願い致します。





佐渡支部 藤浪 聖子

保健師という仕事にやりがいもち、忙しくも楽しく仕事をしていたのですが、更年期？頑張り過ぎた？せいか、心身疲労困憊。定年まではまだまだですが退職しました。

燈々会の元気いっぱいの先輩保健師の後ろに付いて行きます。よろしくお願いします。



佐渡支部 大久保友美

大先輩にお声かけいただき入会させていただきました。現在は、一般社団法人を設立し、飲食店を経営しながら地域のつながりを作り出せるよう活動しているところです。まだまだ未熟者のため、皆さまとの活動を通して専門職としての経験を積んでいきたいです。どうぞよろしくお願いします。

【会員のひろば】



佐渡支部 浜辺 直美

農作業。夏はゴーヤのハウス栽培。苗を植えてから生長に合わせて、朝夕の水やり、授粉・誘引・摘果・整枝・葉掻きなど、毎日一本一本の苗を見ながら声かけして作業をし、良いゴーヤができると嬉しい。よく子育てと同じ、現場が大切と。自分が歩んできた仕事と似てるなと思う。それでも曲がったりして出荷できないゴーヤは佃煮にしている。昨年佐渡へ来た会員の方に少しずつだがお土産にさせてもらい喜ばれた。稲刈りが終ると11月は孫達との温泉旅行が待っている。夫と待つ何よりの楽しみである。

新潟第一支部 佐藤たづ子

看護学生時代に邦楽部に入って始めたお琴をまた楽しんでいます。先日、燈々会副会長を務められた遠藤今朝枝さんから、来日されたイタリアのお友達に日本文化に触れてもらいたいとの話があり、お琴とお茶を楽しんで頂いた事がきっかけとなりました。久しぶりに弾いた私のお琴は散々なものでしたが、またお琴を弾きたいという気持ちにさせてもらいました。昔弾いた楽譜が130曲余り。一曲一曲に思い出があり、夢中でお琴を弾いていた若い頃が思い出され、楽しい時間を過ごしています。



私の楽しみ



長岡・柏崎・魚沼支部

青木 直子

私の楽しみは遊びです。40代頃から登山を始め現在も続いています。今はもっぱら低山ばかりです。行く度に感じる自然の空気や景色、季節の花々と飽きる事はありません。またサイクリングにもはまっていたので、今も時々信濃川沿いに長岡から分水迄往復3時間程を走ります。与板橋からの景色や大河津分水迄の水面に写る国上や弥彦の山々を見ながら、いつまでもこの大河の美しきことを願っています。天気予報を確認しながら何をしようかと考えプランをたてる事から、楽しみが始まっています。

新潟第一支部 遠藤今朝枝

令和2年10月に夫 遠藤伸男を舞茸とりの事故で亡くし、早丸4年が経ちました。この間皆様に支えられ、長男に司法書士事務所を引き継がせたり等多忙の毎日でした。最近は遠藤の残した山野草の手入れに追われています。春一番にショウジョウバカマ、雪割草、すずらん、ニッコウキスゲの黄色の花等が咲きます。夏にはサギ草の白い花、秋は不思議なことに彼岸になると決まったように、ヒガン花の赤が咲きみだれ、私を励まし慰めてくれます。我が家の小さな庭が私の楽しみです。



1. 会 議

- (1) 総 会 4月24日 於 新潟県自治会館別館
24人出席(委任状62人)
- (2) 役員会 5月27日、7月3日、10月11日(第2回保健活動意見
交換会)、12月11日(第3回保健活動意見交換会)、
R7年2月13日、3月27日
- (3) 幹事会 7月3日(第1回保健活動意見交換会)
12月11日
- (4) 編集委員会 6月28日、8月6日、10月25日、12月18日、
2月1日
- (5) 推薦委員会 12月12日

2. 事 業

- (1) 事業関係
 - 1) 記念講演会 国保在宅保健師等研修会
 - 2) 研修会
 - ・会員の親睦を兼ねた研修旅行 9月11・12日
テーマ：地域の文化に触れながらこれからの時代を見据えた
地域住民の活動を知る
担当：新発田・村上
参加人数：25名
 - ・ブロック別研修会 6ブロックで実施
- 3) 高齢者ふれあい事業：令和6年度実施3地区

支 部	名称(申請者)	支 部	名称(申請者)
長岡・柏 崎・魚沼	いきいきクラブ (谷 崎)	佐 渡	ほっとハウス青木 (土 屋)
新潟第二 ・三 条	生き生きつたちの会 (阿 部)		

- (2) 協力関係
 - 1) 県民介護知識・技術習得講座への協力
6月25日 目黒節子(新潟第一)
10月29日 石川玲子(新潟第二・三条)
 - 2) 第29回にいがたねりんピック救護への協力(種目毎)
5月11日 ソフトボール：神保由美子(長岡・柏崎・魚沼)
5月12日 バウンドテニス：加藤 梢(長岡・柏崎・魚沼)
5月19日 ソフトバレーボール：清水一美(長岡・柏崎・魚沼)
5月19日 ソフトテニス：加藤隆子(新潟第一)
5月29・30日 ゲートボール：土屋貴子(佐渡)
6月2日 卓球：吉田増美(新潟第二・三条)
6月2日 ペタンク：清水一美(長岡・柏崎・魚沼)
9月29日 太極拳交流大会：佐藤ゆう子(新潟第一)
 - 3) 粟島浦村特定健診等業務への協力
* 5月17日 特定健診：近百合、塚野郁子(新発田・村上)
* 7月11・12日 結果説明会：近百合、塚野郁子(新発田・村上)
 - 4) ハンセン病療養所施設訪問
施設訪問10月9日 群馬県草津町 栗生楽泉園 青木会長
 - 5) 新潟県藤楓協会総会
4月25日 青木会長出席
DVD ドキュメンタリー映画「風の舞」
支部活動での利用 5月25日(新潟第二・三条)
 - 6) 結核予防協会事業への協力(複十字封筒・シール)
 - 7) 新潟県看護連盟通常総会
6月29日 新潟東映ホテルにて開催 青木会長出席
- (3) 会員の福祉
令和6年度入会(9名)
上越：金子弘子 長岡・柏崎・魚沼：星野美佐子、
稲川明美、林孝子、佐藤茂子、渡辺隆子
新潟第一：佐藤ゆう子 佐渡：藤波聖子、大久保友美

昨年度・今年度退会(9名)

上越：桑島弘子、西島弘子、松尾良子、阿部カズ
新潟第一：山岸美代
新潟第二・三条：亀山純子、小林梅子
新発田・村上：斎藤シユエ
佐渡：宇留間寿枝

(4) 「燈々会だより」

第42号は令和7年3月発行

(5) 新潟県国民健康保険団体連合会主催の研修会・講習会に積極的参加

- 1) 新潟県在宅保健師等研修会
4月24日 於 新潟県自治会館別館 25名出席
- 2) 市町村保健事業従事者研修会
8月30日 オンライン 9名参加
- 3) 東北地方在宅保健師等会連絡会議
12月5・6日 役員3名参加
- 4) 都道府県在宅保健師等会全国連絡会(国保中央会主催)
- 5) 国民健康保険診療施設協議会医療セミナー
11月9日 於 新潟市ガレソンホール 4名参加

3. 運営について

会員の増加策が課題

会員数 令和6年11月末現在 104名(うち10条会員3名)

4. 50周年記念事業準備委員会

10月11日、R7年2月13日

令和6年度 役員・支部幹事・委員名簿

◇役 員

会 長	青木 智子	
副 会 長	若井 和美	戸根 節子
常 任 幹 事	石田奈津子	
会 計	井倉久美子	
監 事	清野智満子	笠原 孝子

◇支部幹事

上 越	五十嵐直子
長岡・柏崎・魚沼	神保由美子(新)
新 潟 第 一	目黒 節子(新)
新潟第二・三条	長沼 典子(新)
新発田・村上	安達 ミチ
佐 渡	土屋 貴子

◇編集委員

委 員 長	塚野 郁子
委 員	大橋 芳子 清水 明子

◇推薦委員

委 員	小池マサエ(新) 関 厚子
	土屋 貴子

お
く
や
み

謹んでご冥福をお祈りいたします

●新発田・村上支部 斎 藤 シユエ 姉

令和6年9月9日逝去

編集後記

令和6年は、元日の大地震を始め大小の災害で被害を受けた方々も、支援に当たった方々も、大変な1年だったと思います。新年度は穏やかな年になるよう願っています。多くの人に役立つ情報や楽しめる話題に四苦八苦した「燈々会だより」42号をお届けします。皆様のご協力に感謝いたします。
(編集委員 清水 明子)